

平成 29 年 4 月 28 日

認定実務実習指導薬剤師 各位

一般社団法人宮城県薬剤師会 会長 佐々木孝雄
実務実習体制整備委員会 委員長 森川昭正

平成 30 年度 薬局実務実習生の受入施設希望調査について

拝啓 皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は本会にご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、東北地区調整機構より**平成 30 年度**の薬学生実務実習の受入施設調査依頼が来ております。つきましては**平成 30 年度**の薬学生の受入について別紙調査票にご記入の上、**平成 29 年 5 月 19 日まで**に宮城県薬剤師会まで Fax にて返信いただきますようお願い申し上げます。

なお、実習生の受入を希望する薬局は、平成 30 年度実務実習生受入表明薬局として東北地区調整機構に報告し、平成 30 年度の実務実習受入薬局選定の資料となりますので、予めご了承をお願いいたします。

また、薬学教育協議会から発行される「受入施設証」や、東北地区調整機構ホームページに掲載するデータといたしますので、薬局名等については正式名称での記載をお願いいたします。

開設者をご相談の上ご記入下さい。よろしくお願いいたします。

尚、平成 30 年度の実務実習にあたり、受入薬局には「改訂薬学教育モデルコアカリキュラム」に対応した実習受入施設であることが求められます。受入薬局の要件等につきましては、県薬ニュース（本年 4 月 1 日号）掲載の「6 年制薬局実習の受入薬局に対する日本薬剤師会の基本的な考え方」をご確認ください。

敬具

